道退教支部便り 石狩・札幌

151号

全北海道退職教職員の会
道退教石狩・札幌支部
【題字】 北仙書（及川建）

◆【事務局】〒063－0022 札幌市西区平和2条7丁目4－6 阿部紘司 ☎・FAX 011-667-2292
◆ E-mail － kfujita@kmj.biglobe.ne.jp 藤田耕造

安倍暴走政治を 私たちは許さない

支部長　土田智子

衆議院選挙に続き、参議院選挙でも過半数を獲得した安倍自公内閣は、暴走を加速させています。

「特定秘密保護法」「集団的自衛権の行使」「辺野古基地へのごり押し」「ＴＰＰ参加」「消費税八％実施」「原発再稼働への動き」「東京オリンピック名目の大型公共事業」「法人税のさらなる優遇措置」「働く場の条件悪化」「道徳教育の強化」等々々々。

しかし、これらの厳しい情勢の中で、私達は多くのことを学びました。消費税等大衆税を増税した内閣は、次の選挙で必ず大敗北をしています。「破壊活動防止法」は、大きな反対を押し切って成立させましたが、この六〇年間一度も適用させずにきた等。反対の輪もかつてない拡がりをみせています。

私達は悪法の危険性を一人でも多くの人に知らせ、必ず撤廃に追い込んでいきましょう。

安倍内閣は「消費税増税は、社会保障充実のために」と言っていたのに、八月から私達の共済年金の大幅削減が始まりました。年三〇万円以上削減の人もたくさんいます。

私達は、遅ればせながら「不服審査請求」運動に取組み三〇人分を共済組合に提出しました。

今、若者たちの働く場の条件悪化で、低賃金や精神や体をこわし、働けない等の家族を抱え、じいちゃん・ばあちゃんの年金は、まさに一家の命綱になってきています。

今月からは「基礎年金」の２．５％削減が始まりました。「不服審査請求」に積極的に参加し安心して生活できるようにするため力をつくしていきましょう。

新年を迎えて
300字 メッセージ紙上交歓

「オーイ、生きてるぞオー」と声を掛け合いませんか

２０１４年を迎えて、メッセージ紙上交歓の企画です。
★全員の投稿をお待ちしています。

▼内容・形式（自由です）
・今を生きる思いや今年の抱負など
・近況こもごも…など何でも
・絵手紙・詩・短歌・俳句・川柳・切り絵
・年賀はがき・嘘クラブ・スケッチ

▼字数
・３００字以内（含む題、氏名）
・同封の用紙をお使いください。

◆提出期限＝一月六日まで

◆提出先〒０６３－０８４７
札幌市西区八軒７条西10丁目１の44
野原安雄　☎・ＦＡＸ６４２－３３５９
※ＦＡＸがない方は、恐れ入りますが郵送でお願いします。

★Ｅメールを活用の方は藤田耕造アドレスへ
kfujita@kmj.biglobe.ne.jp

只今の現勢です

■総会時(２１５名)
その後
★入会しました　（１１名）
＊退会しました　（　２名）
＊亡くなられました(３名)
■現勢　（２２１名）　６名増

「暗黒政治回帰」へ暴走する安倍自公政権ＳＴＯＰ！の中で仲間の輪が広がっています。
仲間と共に、楽しみも、生き甲斐も、運動も力いっぱい広げましょう。世の中を変える一歩です。仲間をたくさん増やしましょう！

会費納入の振替用紙を同封しました

新年とはいえ、私たちにとっては厳しい季節を迎えましたが、いかがお過ごしでしょうか。

新年早々の催促は大変心苦しいのですが会費納入のお願いです。

明細は同封の振替用紙に記載してありますので、お手数でも納入方、よろしくお願いいたします。

12月１日付のお願いですので、もし行き違いがありましたらお許しください。

会計担当
水野佐多子　☎・778―7265
塩谷昭子　☎・ＦＡＸ　695―8344

今日の子どもをとりまく環境を学ぶ集い

（１）と　き　２０１４年２月２２日（土）１３：００～１６：００

（２）ところ　高教組会館　札幌市中央区大通西１２丁目

電話　０１１－２７１－３６２７

（３）参加費　３００円

（４）内　容

各教育現場からの報告及び意見交流

○　学校内の子ども、放課後の子ども、地域の子どもは　今？

・のびのび活き活きと生活しているのか？

・豊かな学習・文化・遊びが保障される環境にあるのか？

・困難な課題の先にあるもの？　前進・発展の芽は？

（５）報告して下さる方々

①野口憲一さん　児童会館館長

・児童館での子ども（学習・文化・遊び）は？

②吉岡博行さん　札幌市小学校教員

・学校は今、子どもの豊かな学び・文化の保障は？

③原田　勇さん　教育大学札幌校講師

・「福島」の子どもたちは今、困難の先にあるもの、展望の芽は？

（６）主催　全北海道退職教職員の会石狩・札幌支部

（７）後援　道教組、道高教組、札幌市教職員の会、子どもセンター（交渉中も）

「どっこい」16号 合評会のまとめ

◆2013年10月15日 ・参加者11名
・労働センター会議室にて

「どっこい」16号は道退教石狩・札幌支部結成20周年記念特集号として発刊された。

(Ⅰ) 前半部分「特集」について

①表紙について
・写真が素晴らしかった。道退教の姿が象徴的に表現された写真となっている。
・題字文字も力強く、デザインも未来を象徴しているようで良かった。

②資料や写真について
・菊地大さんの巻頭詩がとても良かった。
・結成宣言や手書きの活動計画案を掲載したのは、資料的価値が高い。
・結成総会時と昨年総会の写真も顔がはっきりしていて良かった。
・年表については、編集上、最後に載せるのが一般的。

③執筆全体について
・阿部幸一さんの発足当時の話が良かった。
・編集しながら、送られてくる原稿を読みながら感動していた。
・発足当時の話は人によって切り口が違っていて面白かった。
・同好会の歴史もバラエティーに富んでいて、楽しさがあふれていた。

④その他
・編集、印刷、丁合など編集委員の方々のご苦労に感謝したい。
・半年間という短期間でやり上げたことは良かった。2~3年計画などにすればまとまらなかったかも知れない。
・特別委員会が十分に機能していたかどうか疑問が残る。

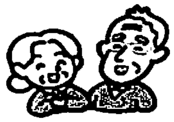
(Ⅱ) 通常の「どっこい」について

①全体について
・印刷、活字の工夫が必要ではないか、せめて活字ポイントや行間を揃えるようにすると読みやすくなるのではないか。
・原稿募集の際に、一定の決まり事を付記しているが、なかなか徹底しない。
・次号から原稿の形式を意識して書かれるようにお願いしたい。
・もっと気軽に書いてもらえるように工夫する必要がありそうだ。
・ペンネームの使用について話題になったが、筆者に任せていいのではないか。

②内容について
・日沖さんはなんて素敵な先生たちと出会っているのかと思った。先生たちも素晴らしいが、それを受け止める日沖さんも素晴らしい。
・福島出身の土井さんならではの被災者に寄り添う姿勢が伝わってくる文章だった。
・「元三物語」は、元三を取り巻く子どもたちや坂野さんの彼らに寄り添う姿に感動した。
・「レモンイエロー」は前作「ショッキン ダビング」同様、引き込まれた。
・小野さんや室崎さん、地蔵さん、池内さん、たかはしさん、田中さん、佐藤さん、細川さん、藤嶋さん、樺沢さん、飯塚さんと今回も日常思ったことなど気軽に書いていただき、「どっこい」に厚みを与えてくれていた。感謝したい。
・短詩系(詩・短歌・俳句・川柳)の作品がもっと増えてほしい。

(まとめ 山田幸子・鈴木英雄)

どっこい17号



原稿募集

いつも ありがとう

「どっこい」17号の原稿を募集します！

気軽にお寄せください！

■どんなジャンルでもOK

・エッセイ・評論・紀行文・創作・詩・短歌・俳句・川柳など。

・また絵画・書道・絵手紙・切り絵・カットなどもお寄せください。

（カラーでも印刷はモノクロになりますが…）

■ワープロ・パソコンの場合

・用紙＝B5版　・縦書き、　・2段か3段組（※これまでの「どっこい」参照）

・文字サイズ＝12ポイント。・字間＝0　・行間＝3ミリは欲しい。

(※ちなみにこのページの仕様＝文字サイズ12ポイント、書体DHP平成明朝体、字間0，行間3.1ミリ)　読者はほとんど高齢者ですので…。

・また、上下左右のゆとりも考えて、ゆとりのある紙面になるようにお願いします。

■ 原稿送り先

・005-0824　南区南沢4条2丁目8－3　斎藤卓三（572－4841）

・001-0910　北区新琴似10条12丁目1－10　山田孝子（761－2643）

・001-0018　北区北18条西3丁目2－25－501　鈴木英雄（709－6611）

■ Mailの投稿は下記

・野口憲一アドレス　　ken2582@kxd.biglobe.ne.jp

原稿〆切り＝　2014年3月22日(土)

※原稿は作業の都合がありますので、出来るだけ早く送って下さい。

震災避難者支援
厚別・白石子育てクラブの活動

原発の放射能から子どもを守るために避難してきている福島の人たちを支援

★12月クリスマス会　★1月14(火)、18(土)スキー教室　　ご協力を願います

子どもふれ合いクラブ
クリスマス会

- ひにち　12月21日（土）10時から11時半
- ばしょ　雇用促進住宅（こようそくしんじゅうたく）　集会所（しゅうかいじょ）
- さんかひ　子ども1人100円
- ないよう　ツリーの中を見てね

たのしいよ！

当日の持ち物
100円・かんたんなかざりを一つ（サンタさんやクリスマスケーキの絵の切り抜きなど）持ってきてね。

マジック
楽しい手品です。

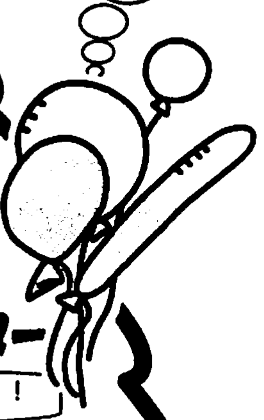
バルーンアート
風船をふくらませて、色々なものを作ってお話してくれます

腹話術・パネルシアター
お人形がお話をしてくれるのですって！！

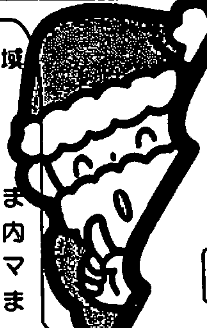
SHGダンス
たのしいダンス！！日頃の練習成果を披露してくれます。みんなもおどりたくなっちゃう？！

出し物・ゲーム・歌
みんなも、出し物やゲームや歌で参加してね！

プレゼント
帰りにはサンタさんからプレゼントがあります！！



今年も地域の方たちのご好意で、小さなお子様から大人まで楽しめる内容のクリスマス会をします。
お父さんお母さんたちも、ぜひご一緒にご参加ください。



子ども・大学生・[illegible]・ボランティアの代表で進めます。

1月の予定

14日（火）いなり公園スキー教室

18日（土）藻岩山スキー教室

「厚別・白石子育てクラブ」事務局　原田　勇　011—898—1877

チェルノブイリの今

室崎　和佳子

（その一）

二〇一三年九月十四日から十日間、私を含む七人で、チェルノブイリ原発の爆発事故により多大な被害を被った地域を回ってきたので、何回かに分けて報告したいと思う。

《被爆による健康破壊》

一九八八年四月に起きたチェルノブイリ原発の爆発事故は、自国のウクライナより隣国のベラルーシにたくさんの放射能を降らせた。

人口1．100万人の小国ベラルーシ（現在は951万人）にとって、事故は国民的惨禍となった。485の村や町を失い、そのうちの70の村や町は永久に土の中に埋められた。5人に一人が汚染された地域に住み、その数210万人、そのうち70万人が子どもである。放射能のせいで人口が減り続け、死亡率が出生率を20％上回っている州もある。

長期にわたる低線量放射線の影響の結果、がん疾患、知的障害、神経・精神障害、遺伝的突然変異をもつ患者の数が毎年増加している。毎年、およ850人の子どもたちが、先天性心臓病で生まれる。これは951万人の人口をもつ国のかなりの数字である。

（その二）

《ベラルーシの子どもたちにビタペクトを配る活動をしたこと》

セシウム137の排出促進剤「ビタペクト」は、リンゴを主成分としている。

それを作ったのは、ベラルーシの首都ミンスクにあるベルラド研究所。2011年、日本の米田薬品は、ベルラド研究所の了承を得て、ビタペクトの改良品を製造し、ビタミネペクトと名付けた。

私たちはビタミネペクトを旅行バッグに詰めて日本から持っていき、ベラルーシの六つの学校に配って回った。ベラルーシの学校は十一年制で、小学生から高校生まで一緒の学校で学んでいる。子どもの健康状態について聞くと、校長先生は「このような汚染地域なのだから、健康状態が良いと言う方が無理」と答えられた。体育の授業は、体調の良くない子には特別のプログラムを用意している。

クラスのみんなが体育の授業をしているとき、三度目の手術をひかえていた15歳の少年は、たったひとりで、教室で自死した。自分のベルトで首をつって。

彼は二度目の甲状腺の手術を終えて、もう少しで三度目の手術をするところだった。しかし、その手術をしても自分の命が助からないことを悟り、自ら15年の人生に幕を引いたのだ。

未来ある子どもたちに、こんな思いを抱かせるようなことを、大人の責任においてしてはならない。あまりに悲しすぎる。福島の25年後が今のチェルノブイリである。

同好会 活動報告 11・12月分

読書

世話人　室崎和佳子

十月例会は十月十一日に行われました。九月にチェルノブイリに行った室崎がまとめた『チエルノブイリの嵐』を読んで感想を出し合いました。「爆発してから二十七年もたっているのに、子どもたちの病気はふえていってるんだね」「福島の二十五年後はチェルノブイリの今なんだね」等に話第が集中しました。今なお、汚染された森の中に入ることもできないチェルノブイリ周辺の人びとの苦しみは言語に絶するものがあります。そのことと福島を重ね合わせ、複雑な思いのみんなでした。

十一月例会は十一月二十一日（木）、いつもより三十分早く十二時半から始めました。会員の土田さんの近くの喫茶店で作っている美味しいお弁当をみんなで食べ、楽しい時間を過ごしてから読書会を始めました。『泊原発の問題は何か』（泊原発の廃炉をめざす会・編）を読んで感想を出し合いました。「泊で事故が起きたら、北海道は終わりだね。とんでもない」「巨額の原発マネーで動いている原発に怒りを感じる」「泊原発ができるとき、補償金をもらった漁師のじいちゃんが、小学校一年生の孫に百万円の小遣いをくれたんだって。その子を担任していた人から聞いた話だから本当のことだよ」一同、この話を聞いて唖然としました。「金漬け」の原発の実態です。

パークゴルフ

世話人　舟橋　寛

◆日帰りツアー

八月二十二日北広島の山根園で開催。曇天でしたが芝よく手入れされた素晴らしいグリーン。午前中は坂を下ってのA、Bコースでプレイ。どのホールも微妙な傾斜地にあり私もよくラフへ打球。「下手になったもんだなあー」とガックリすることも何度かありの難コース。しかし、安保英樹さん断トツの好スコアをマーク。

午後は、坂下のCDコース。急な階段登りが大変。でも、安保順子さん、事前に園と交渉。登りはオープンカーを出してくれることになり大助かりでした。

午後開始の時、突然の雷としのつく豪雨。「中止か」と待機。ほどなく空の一角に晴れ間も見え小降りから雨上がるは奇跡的。無事完了。中村正義さん作成のスコア一覧表を前に、お互いの健闘を讃え合いながら表彰式を行いました。

▼男子の部

優勝	安保英樹	百十六点
二位	地蔵幸信	百二十二点
三位	野原安雄	百二十三点
四位	中村正義	百二十六点
五位	吉田久栄	百三十点
同	舟橋寛	百三十点

▼女子の部

優勝	野口紀子	百二十九点
二位	斉藤友子	百三十二点
三位	平野洵子	百三十六点

同　　辻本文子　　百三十六点
五位　安保順子　　百四十点

◆支部杯は上月さん連覇達成！

年間最大の重みある大会が支部長杯争奪戦。

九月二十六日、快晴。会場は手稲山口東。手稲連山を間近に海へと続くよく整備された広々とした美しい芝上の熱戦。男女一本、しかもハンデーなし。二十一名の参加。

スコアは次の通り

優勝　上月正明　　百十二点
二位　相沢喜美子　百十四点
三位　吉田久栄　　百十四点
四位　野口憲一　　百十七点
五位　野原安雄　　百十九点

上月正明さんは、体調、今いちという状態でしたが実力発揮。昨年の百二十一点を大きく上まわる百十二点の好スコアで見事連覇の偉業。盛大な拍手の中、厚別に支部長杯を！でした。久し振り参加の相沢喜美子さん、吉田久栄さんとも健闘。同点の二アピンで順位決定戦にのぞむ接戦となりました。パークゴルフは、腕前もさることながらその日の「ツキ」にも大きく左右される競技で、それだけにおもしろみも倍加され奥の深いスポーツとも言えます。どうぞ冬場でも体力づくり継続し来シーズンもまた、元気でプレイできることを楽しみにしいます。

うた声　コールドーン

世話人　塩谷昭子

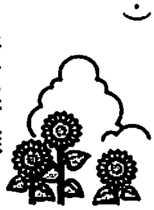
今年度の発表が全て終わり、来年度歌う新しい曲選びをしています。歌いたい歌を出し合いみんなでどんな曲か歌ってみながら決めていくので今はいろいろな曲を歌っています。

その一つにコールドーンの竹内雪雄さんが学生時代に作曲した「わだつみの誓い」という歌があります。

この曲は一九五七年十月一日、原水禁統一行動日に札幌分校（現教育大）が初めてのストライキ決行にあたり作られた曲ということで、その当時学生の間で広く歌われたそうです。「小さい手を守ろう」より前に竹内さん作曲の歌があったことを知り、うれしく思い練習しているところです。（昭和三十四年十月二十七日発行の北海道学芸大学新聞は保存してありますので何かの機会に…）

登山（山歩会）

世話人　野原安雄



▲塩谷丸山　十月七日　参加十七人

絶好の登山日和。延々と続く樹林の坂を登る。やがて熊笹の生い茂る狭坂を抜け、岩石を越えると山頂。周辺は、切り立つ断崖絶壁。青く広がる日本海。遠くに、積丹やニセコ連峰の大パノラマを満喫しながらの昼食。山頂の記念撮影。小野田さん登山者を物色し依頼。選ばれし者、「待っていました」とばかり「ハイチーズ」ならぬ漫才の開演。爆笑、爆笑、入れ歯も心配になるほど。どこで映したんだか、わからぬうちにバックから次々大小のカメラを取り出し、パチパ

チと連続撮影。山頂はしばし笑いの渦。後日、小野田さん「あのカメラマンの腕はスゴイ。笑いを誘い百%それを活写している」激賞。

▲朝日岳　十月二十一日　参加十七人

　登山路はいきなり百段近くの階段登り。続くは、クマザサや木の根も露出した泥濘状もありの滑りやすい狭坂。一瞬も気抜けず。しばし、緊張の連続。やがて、ゆるやかな斜面へ。降り積もった落ち葉を踏みしめる足裏の快感がたまらない。すでに全山紅葉。赤、朱、茶と色彩の競艶。なかでも明黄色のかえでが射し込む陽光で、森の中は明るく華やかに、変身。これまで迷ったという分岐点に新しい表示板あり。「ここよ。これなら分かるのにね」と山ガール群の口は、休まず。これなら、クマも恐れなし、近づくまいと。やがて、木立に囲まれた山頂に着く。下山。楽しみにしていた川沿いの紅葉道は、崖崩れで不通。温泉は、湯の花。露天風呂に迫る切り立つ断崖も紅葉の真っ盛り。地蔵世話人の配慮で格安の入湯料。心身ともにリラックス。

▲納会

　十月二十日、丸井デパート食堂別室で十一時から会食をはさみ十三時まで二十一人の参加で開催。シャクナゲ岳は、残雪深く途中で断念するも黒岳等十山は予定通り山頂に立つ。この間、無断遅刻・欠席はゼロ。途中体調不良でリタイア二名出るも無事故の金字塔で終了。一年間の総括後、来年度の希望山を意見交流しつつアンケートで決定。新たに世話人となる森田宣彦さんからの力強い挨拶を大きな拍手で迎え、終了。

▲登山同好会に加入して

森田　宣彦

　今年三月に退職し、さっそく道退教『山歩会』に加入し、年十一山のうち四山に参加させてもらいました。在職中は、年一・二回一人で朝早くに出掛け、ともかく早く頂上に登ることだけを目標にやってきました。それが『山歩会』では、名前の通りゆっくりゆっくり頂上めざす山行です。多くの同行の人と共に山の景色や風情を楽しむことができ、山に登った日はぐっすり朝まで眠ることができ、生活の中でなくてはならない会となりました。

　山登りのことを地域の人に話すと、「いいね、行きたいな」とのこと、そんな人たちも誘って、来年度は一緒にさらに多くの山に登れたらいいなと思います。幹事の方々、運営ご苦労様でした。

囲碁

○●○第四回例会●○

柿崎　幸至

10月24日（午後1時～4時半）、札幌東区民センターで行いました。

森田宣彦さん、伊藤蓉子さん、藤田耕造さん、柿崎幸至の4名が参加しました。全道囲碁交流会に向けての練習を兼ね、対局時計を使用し、一人2局づつ対戦しました。楽しい話もしながら、充実した半日を過ごしました。全道交流会ではこの成果が発揮されるでしょう？　お楽しみに。

○●第17回道退教全道囲碁交流会

空知支部の連戦連勝にストップ！

石狩札幌支部優勝！

11月11日午前10時から午後5時まで、札幌東区民センターで開かれました。石狩・札幌支部から7名の参加があり、空知及び胆振・室蘭支部の4とあわせて11名が、A、Bの2グループに分かれて熱戦を繰り広げました。

今回のビックニュースは、Aグループでこれまで優勝を独占していた空知支部にストップをかけ、我が石狩・札幌支部から優勝者を出したことです。よかった！ 例会での練習の成果ですね。

もちろん、交流会ですから、盤外での楽しく有意義な会話もあり、充実した大会になりました。

大会成功のため、多くの参加者があった石狩・札幌支部囲碁同好会員の果たした役割は大きかったと思います。

ありがとうございました。ごくろうさまでした。

○●石狩・札幌支部参加者の成績

Aグループ（三段～五段　7名）

優勝　柿崎　幸至さん（五段）4勝0敗
3位　森田　宜彦さん（三段）3勝1敗
4位　藤田　耕造さん（四段）2勝2敗

Bグループ（五級～初段　4名）

優勝　池内　省子さん（4級）3勝1敗
2位　橋本　脩司さん（初段）3勝1敗
3位　伊藤　蓉子さん（5級）1勝3敗
4位　打方　成美さん（4級）1勝3敗

トキドキ教科書を見る会

世話人　小松豊

『トキドキニュース』を発行しましたので紹介して報告に変えます。

トキドキニュース　創刊号

2013／10／23

（前部分　略）

単元「人々からみた明治維新(P154～P155)…中略…①「文明開化」「鎖国」を止め。開国した日本は欧米の文化を取り入れた反面、未だ欧米の侵略を恐れて「鎖国」中だった朝鮮や中国を「未開国」「野蛮国」と一方的にレッテルを貼って侵略の口実にした。

②そのレッテルを貼った知旅人の代表に福沢諭吉がいた。彼の『脱亜入欧』がその代表思想である。隣国の歴史研究者から「憎むべき我が国最大の敵、福沢諭吉」(旨)と評されている。後には、札幌農学校(現北大)の新渡戸稲造(「殖民学」)も『枯死国朝鮮』『亡国』等で朝鮮蔑視に加わる。いずれも侵略・植民地化肯定の一環である。

③福沢諭吉著『学問のス.スメ』では、ススメられている対象を一部の富裕層等の息子に限り、現在の貧富の大差、格差の大きい社会が理想であった。彼の思想は年代によってやや便化しているが、いわばブルジョア民主主義である。多くの国民は教科書で「天は人の上に・・:」と学び、彼の言葉と思わされ、誤解してきた。17編まである著書を最後まで読めば明らかになる。

＊①②③は安川寿之輔著『福沢諭吉のアジア認識』(高文研、2000年)に詳しい。

④統計によれば、一揆は幕末より明治初期が多かった。農民だけでなく、急激な諸改革(変化)であったためいろいろな層で発生した。

＊今後の予定12月16日(月)

北海道・東北ブロック
交流集会報告

垂石　豊

２０１３年度は9月25日から26日にかけて山形県を開催地として実施されました。25日13時から開会式。その後、講演があり、「芭蕉を魅了した出羽の山河」と題して鈴木正一郎氏が講演を行いました。15時から奥の細道研修で尿前の関、封人の家、分水嶺を辿りました。19時から中山平温泉の仙庄館に107人が参加し（道退教5道高退6）懇親会が盛大に行われました。26日8時半から、芭蕉・清風歴史資料館、大石田町民俗資料館、山刀伐峠を辿り、最上町中央公民館で弁当をいただき解散となりました。

開会集会と鈴木正一郎氏の講演概略

全退教幹事の柴田文男氏は主催者挨拶の中で内村鑑三氏の言葉を引用しつつ、「後世に残したいものは、その人の学網でなく生きざまである。芭蕉が旅した一部分を辿りながら交流と連帯を深めよう」と挨拶。全山退教会長の我妻秀行氏は「ゆっくりとくつろいで見学していってほしい」と地元としての歓迎挨拶を述べました。

芭蕉は『奥の細道』で鈴木清風のことを「かれは富めるものなれども志卑しからず」と記していますが、その子孫の講演とあって興味深く聞き入りました。芭蕉の最大の驚きは7月末にして雪をみる。そして、ぶなの原生林。山形の大自然に魅了され、出羽路の人々の人情に包まれた毎日だったからこそ今の暦で7月1日～8月12日まで滞在。そして、不朽の名作『奥の細道』は四百字原稿用紙で37枚だという。だから一字一字が詩であると力説。

さみだれを　あつめてすずし　もがみ川

意外な展開、封人（ほうじん）の家・山刀伐峠（なたぎり）

大山を登って日既に暮れければ、封人の家を見かけて舎を求む。三日風雨あれて、よしなき山中に逗留す。

蚤虱　馬の尿（ばり）する　枕もと

封人の家に入り専従ガイドの説明を聴く。その話によると私の座っている所が芭蕉の席だったという。そこで私は間髪を入れず「いいバショウ」と言ったら一同どっと爆笑。

森村誠一氏が「名蕉百選」のひとつに挙げている山刀伐峠。通称27曲りは中型バスでも一回でハンドルをきれない難所。ぶなの原生林に覆われた標高470ｍの美しい景観は今でも脳裏に焼き付いている。

次回は北海道が当番！

懇親会のお開き乾杯の音頭は私がとりました。まず、企画から運営までご苦労いただいた山形の皆さんに謝辞を述べ、「次年度は札幌周辺の『戦跡を辿る』をテーマとして北海道が担当しますので、たくさん参加してね」と呼び掛け、乾杯の発声を行い、会を大いに盛り上げてきました。

〈写真＝芭蕉碑の前で〉左～元木昭八、伊藤智子、垂石豊、木村政幸、加藤活男

北全退教ツアー（10／22～24）
ｉｎ宮城・松島に参加して

水野 佐多子

ツアーのことを考えるとき、決まって目に浮かぶ光景がある。バスが浪江町に入ると間もなく、車窓から見える光景は黄色のセイタカアワダチソウの大群生。ガレキは殆ど片付けられていたが、ところどころに船が置き去りにされている。

案内してくれた農民連の三浦さん（被災して仮設住宅に入っている）は「今はすぐそこに海があるように見えますが、人々の暮らしのあったころの海なんか、全く見えなかったんです。多くの人々が住み緑豊かな田畑だったんです。水は全てのものを根こそぎ奪っていったんです」と話してくれた。放射線量をはかりながら行けども行けどもセイタカアワダチソウの群落。横にいた土田さん。「自然までもアメリカにいいようにされている！」と怒りを込めていった。（セイタカアワダチソウは外来種）

浪江町に入る前、南相馬市の警戒区域では立派な家が何の被害もないように立っている。しかし人影はなく静まりかえり、作業している人々のためにコンビニが一件とガソリンスタンドが営業しているだけという。そして家にも一歩中に入ると野ねずみとイノシシの巣になっているという。ゴーストタウンということばが浮かんでくる。

案内してくれた三浦さんも南相馬市の小高地区で農業を営んでいたが、第一原発から10Kあまり、別なところに土地を借りた。でも東てん京の孫は「じいちゃん米は食べない」という。津波だけなら何とかなったのにという思いが、黄色の花に埋まっていた広大な土地に重なり、ことばも出ないほどショックを受けた。

ツアーの一日目は石巻

3・11で最多の死者、行方不明者の出た地域。私たちの周りの方々・道退教の方々など多くの人々が支援に行き、震災のすごさを語ってくれた。この2年半でずいぶん復旧したように見えた。亡くなった方々の遺体も上がらず、又前途に展望もなく苦しんでいる方々もまだまだたくさんいらっしゃいますが、自然災害は力を合わせ、行政が力を出すといつかは復旧していく。石巻の水産高校、門脇小学校など現地を訪れたとき、実感しました。そして悲しみを教訓にして残されたものが力を合わせて生きていく展望を感じました。

しかし原発は一瞬にして先祖が長い間大切に守り、受け継いできた自然・文化・伝統・生活等を破壊し、ひいては地域社会も壊していく人災であり、改めて憤りを強くしました。

「被災者帰れ」の落書き…

夜の集会で「原発問題住民運動全国連絡センター筆頭代表委員の伊東達也さんの講演を聞いた。最後に話したことが忘れられない。

「地域社会が原発の距離で分断され、放射線量で分断され、賠償で分断され、

さらに津波被災と原発被災との対応の違いなど県民の中に対立が持ち込まれている。一県内最多24，000人が避難しているいわき市内で「被災者帰れ」の落書きが市役所など4ヵ所に書かれていた。2年明けの正月に仮設住宅内に駐車している自家用車七台のフロントガラスが割られた。その後も避難住宅に向けたロケット花火打ち上げられるなどの事件が発生している。本来みんなが力を合わせて困難を乗り越えたり、東電や政府などに解決を求めるのが当たり前のことが、被災者同士が対立したり、うっ積が同じ被災者に向けられるという異常をもたらしている」と。道退教の原田さん達が支援している避難してきている人々の中におこっている様な問題を思い起こした。（ニュース前号参照）ー私たちは福島の人々にどんなことをしたらよいのかー

ツアー3日目、

レイクライン、スカラインの観光、曲がりくねった道を走るバスに、ときどき見事な紅葉に感動。磐梯山こんには！と癒しの行程。

2日間のお宿も素敵。すばらしい旅でした。又、参加した池内さんの友人片山さんが道退教に入会したのも嬉しいことです。

来年は神戸。今から少ない年金の中から貯金をして参加しませんか！

〈写真〉左手前＝土田さん。震災で最多の死者、行方不明者を出した石巻で聞き入る参加者。（定員180人に300人応募。バス四台を連ね原発ゼロ・被災者完全救済の思い新に！。最中、安倍首相は「世界一安全と原発セールス」に躍起。怒！）写真提供＝太田裕子さん

新しい仲間 どうぞよろしく

会員一同心から歓迎いたします

▼同好会世話人さん
すぐ声をかけて下さい。

▼地区世話人さん
すぐ声をかけて下さい。

◆片山和子（かたやまかずこ）さん

・最終校＝（2000年）札幌市立稲陵中学校

・住所＝〒047－0261
小樽市銭函2丁目5の7
☎0134－62－2901

※（池内さんに誘われ東北の旅に参加し、その中で道退教に入会しました。）

＊退職後は登山をしようと思って、特訓して富士山に登りましたが、特訓が十分でなかったため、下山の無理がたたっ

て人工関節となりました。

その後、カウンセリングの研修を受けて家庭生活相談員となり札幌、小樽でボランティアをしました。その中で絵手紙、水泳、ドレミ琴に出会い…。今はこれを楽しんでいます。

どうぞよろしくお願いします。

◆高谷喜平（たかやきへい）さん

・最終校＝(2008年)佐呂間町立佐呂間小学校

・住所＝〒004-0022
札幌市厚別区厚別南3丁目18の7
☎011-894-1456

＊退職したら、札幌で赤旗配りの新聞おじさんなどをしてのんびり暮らそうと考えていたのですが、村上事務所の選対に誘われ、11月は慣れない大都会の道を毎日「機密法反対！」宣伝カーの運転をしていました。今は多少疲れ気味…。

とは言え、登山、スキー、サイクリング音楽鑑賞、掃除に茶碗洗いとたくさん。趣味で潰れそうな私です。

＊同好会（登山）（スキー）

◆高谷眞弓（たかやまゆみ）さん

・最終校＝(2007年)北見市立瑞穂中学校

・住所＝〒004-0022
札幌市厚別区厚別南3丁目18の7
☎011-894-1456

＊退職後佐呂間に中古住宅を買って住んでいましたが、父母の実家をリフォームして7月13日に越してきました。

20年近くヨガを続けていましたので、厚別のヨガサークルに入りました。また、始めたばかりの太極拳にも入りました。

朝夕ゴールデンリバーの愛犬ラブと散歩しています。

家の畑と土地の利用について考え中です。

＊同好会（登山）（山菜採り）

＊欲しい同好会（ゴスペル）

◆津崎孟（つざきはじめ）さん

・最終校＝(2002年)釧路市立鳥取中学校

・住所＝〒003-0025
札幌市白石区本郷通り1丁目北2番
10-101
☎011-376-5033

＊2002年に釧路で定年退職。

その後、約11年間洞爺湖町に居を構えました。この9月、故在って当市に転入しました。今では〝名ばかり〟道退教会員で、ゆるやかな教職員組織(洞退教・70人)の運営に携わってきました。

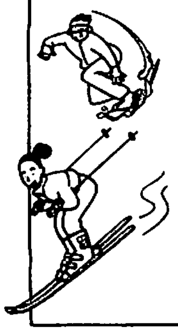
今回引きつづきの会員登録をお願いするものです。まずは心身をオーバーホールしながら、残りの人生プランの再構築を模索中です。

よろしくご指導下さい。

＊欲しい同好会（自治体問題）

※事務局より

（ご希望の同好会があれば最高ですが、その要求を幾ばくかの形で叶えるものとして〝教育と政治を語る同好会〟はどうでしょう。テーマにより専門家を講師にして学んでいます。児玉健次さんも会員です。同好会予定を見て見学にどうぞ）



こちら事務局

教育署名　千五百筆突破

今年の教育要求署名は、十月中旬になっても中々集まらず支部役員会や事務局会議で対策を具体化、その後も支部役員に、ニュースで署名運動の状況を伝えました。

十一月末になってからは、連日のように役員や会員の皆さんから署名用紙が郵送され、ついに、一五二六筆と今年の目標を達成することが出来ました。

しかし、昨年の千九百筆までには届きませんでした。運動の特徴は、署名運動に参加する会員が例年よりも減少していること。支部会員の高齢化が着実に進んでいること。地域や諸団体で取り組む署名の数が、例年より多くなっていること。十月に入り「特定秘密保護法案」をめぐる国会内外の情勢が緊迫化して、この分野での運動に多くの会員が力を注いだためとも思われます。

このような困難を乗り越えての、千五百筆突破は、大きな成果です。

安倍内閣の暴走政治は、あらゆる分野で進行しています。それぞれの持ち場での運動を繰り広げ、総合的に安倍内閣を包囲した運動が、これから益々重要になると思われます。

署名運動に参加された皆さん、お力沿い下さったみなさん、支部役員の皆さん、本当にご苦労様でした。お陰様で、十二月十一日の全道集会では、六万筆強が集約され道議会へ提出されました。

私の年金どうなる学習会

十一月十八日、道退教本部の渡部務会長（全日本年金者組合北海道執行委員長）を講師に、自公民三党合意で強行された年金削減をめぐる学習会が二十三名参加のもと開催されました。

会員からは「大企業には、巨額の大減税。私達には、年金削減と大増税。まったく庶民の生活とは、逆の政治がすすめられている。学習し、宣伝し、声を挙げないとダメだ」という発言があり、参加者は怒りをもって、行政不服申請書をその場で作成提出しました。次はその報告です。

驚愕と怒りの年金学習会

昭和三十七年十二月前に、教職員であった方々の共済年金は、厚生年金との一元化法で、この八月から大幅に削減されました。九一歳の方で、年間三六万、八一歳の方で二八万とまさに驚愕の削減幅です。

これは、平成二四年の三党合意による無慈悲な政策によるものです。

どうぞ今一度、九月中旬、共済組合本部からの親展文書を御覧ください。

アベノミクスによる相次ぐ物価高や消費税一〇％へのアップから国保や介護等の保険料、年金者への課税強化……と

詳細な資料とスライドを駆使しての、渡部務氏の説明は、まさに驚愕の連続でした。

これ以上の年金切り下げや社会福祉制度の連続改悪は、私達の生存権、基本的人権を侵すものです。

参加者は、会場で即、行政不服申請書を作成し、一元化法による法外な切り下げに反対する意思を表明しました。

その後も怒りの輪が広がり目下、三〇名を超える方々から申請書が届けられています。不明の点は、土田支部長までご一報下さい。

さらに、この十二月中頃からは、日本年金機構から年金額改定通知書が来ています。「特例水準」廃止で、今後三年間で合計2.5％の年金削減を、この一〇月から一％減で開始しましたという通知です。

来年四月からは、一％さらに一五年四月から〇.五％減と続きます。

この後も、マクロ経済スライドの発動で年〇.九％の削減が狙われています。

この二.五％削減に反対する「行政不服申請書提出運動」も、今全国規模で全日本年金者組合を中心に、広げられています。どうぞ地域の年金者組合と共に、運動の輪を広げて頂ければと思います。

「どっこい」編集委員　飯塚・地蔵さんご苦労さん会

一〇月二九日、支部結成二〇周年記念号発行をきに、お二人が今年度、勇退されることになりました。札幌ＫＫＲで、支部役員を中心に一六名参加しての「お二人のご苦労さん会」を開催しました。記念号発行のエピソードが披露され参加者からは、感謝の言葉が寄せられました。

訃報

この十一月、相次いでお二人の方々が他界されました。わが会にとってもかけがえのない方々です。心より哀悼の意を捧げご冥福を祈ります。

越田節夫さん　享年七十八歳
秋山皇蔵さん　享年七十七歳

越田節夫先生を偲んで　大沢　成紀

越田節夫さんのご逝去に、心よりお悔やみ申し上げます。

教育者として、人生の大先輩として多くを教えて下さった越田先生でした。

夏、私が札幌に転居しご自宅に数度伺った時にはお留守でした。今考えると、すでに入院中だったのですね。お元気なお姿にもう一度お会いしたかったと悔やんでもくやみきれません。

根室管内では体育教師としてご活躍され、民主的な体育学習の実践を広められるとともに、地域スピードスケート少年団の中心的指導者として、五輪選手を生み出す快挙をあげられた先生でした。

校長時代には民主的な学校運営、そのベースにある温かな人柄が職員の心をつかんで離しませんでした。行事の打ち上げで調理師資格を持つ手料理で教職員を慰労したり、着任する新卒者をエプリルフールで迎える企画立案・主演など明るい職場作りがよみがえります。

そして強い信念の先生でした。地教委・校長会主催忘年会をキャンセルし、分会忘年会で子ども・教育について本音で語って下さいました。

心に残るのは、一九九一年のペルシャ湾への自衛隊掃海艇派遣の決定がなされた翌日のことです。戦後初の海外派兵に、「おれは、教育者としてこのことを触れなければならない。」と、全校朝会で六〇〇人の子どもたちに「平和の大切さや憲法９条について」語りかけました。今、お元気なら政治や教育政策に対して、大きな目をむいてお怒りになることでしょう。

ご自身もつらい闘病中にあっても、奥様の体調を気遣い、お嫁様に笑顔をプレゼントされたと伺いました。ご遺影の優しいまなざしでいつまでも奥様やご家族、そして私たちをお見守り下さい。　合掌。

秋山皇蔵先生を偲ぶ　野口憲一

訃報のお知らせを道退教の野原氏より頂き、大変驚きました。私は、札幌で暮らすようになったので秋山皇蔵先生の所へ、一度ご挨拶に行かなければと思っていた矢先でしたので本当に悔しい思いで一杯です。長らく御無沙汰しておりましたので、ご葬儀にも出られずお詫び申し上げますと共に、心よりご冥福をお祈り申し上げます。

秋山先生とは、平成二年から五年の四年間宗谷管内豊富町立兜沼小中学校で一緒に勤務させて頂きました。この間、先生から宗谷の教育の原点をはじめ多くの事を学ばさせてもらいました。

また、公私にわたり色々なお付き合いもさせてもらっていました。お酒がお好きで、よく私の家で呑みながら政治のこと等様々な事を語られていた事を思い出します。

中学校理科の担当で、女子の生徒にも人気がありました。きっと楽しい授業だったからです。労働組合の活動でも分会長として先頭に立ち、いつも私達を引っ張ってくれていました。

思い出せばきりがありませんが、二十年近くお目にかかれなかった事が悔やまれてなりません。

同好会の予定　2014年　1・2月

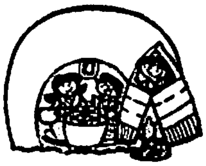
同好会	世話人	とき	＊ところ	内容や活動短信
① 書道	小川美智子 ☎891-8314	1/16(木) PM 2:00 2/20(木) PM 2:00	大麻生きいきセンター ☎387—5111	
② 読書	土田智子 ☎822=9478 室崎和佳子 ☎807−7054	1/23 （木） PM1:00 2/27 （木） PM1:00	土屋きよの宅 ☎ 872—9603	・「ホテルロイヤル」 直木賞受賞作品 ・短歌「おにいちゃん」（戸澤泰子さん＝札幌市民芸術祭大賞受賞作品） 札幌市民文芸30号
③ うた声（コール・ドーン）	塩谷昭子 ☎ 695—8344 森谷長能 ☎ 892−9583	1/11 （土） PM1:30 2/8（土）22（土） PM1:30	あいの里地区センター ☎778−8000	
④ 政治と教育を語る会	藤田弘子 ☎892-1639 田中滋子☎080−6062−6514	1/13（月） 1:30〜4:00 2/10（月） 1:30〜4:00	エルプラザ	「札幌市街地に熊が出る本当の理由」 〈道野生生物研究所所長＝門崎充昭さん〉 「チェルノブイリの嵐」 〈レポーター〉 室崎和佳子さん
⑤囲碁	柿崎幸至 ☎ 520−5601 池内省子 ☎665-2885	1/23(木) PM 1:00〜4:00	東区民センター 2階『かっこう』 ☎ 742-5500 東区北11、東7	年が改まっての最初の例会です。多くの方のご参加をいただき、楽しい半日を過ごしたいと思います。
⑥ 踊り	土田智子 ☎822−9478	1/6（月）20(月) 2/3(月)17(月) (各9:30〜12:00)	メゾン中島203	練習曲＝〈河内男節〉〈函館山から〉 〈人生双六 まだまだ音頭 〉
⑦ 茶道	中村久子 ☎621-7643	1/10(金)・25（土） 2/8(土)・23(日)	中村久子宅 10:00~12:30	初釜＝1月10日です。
⑧ パーク	・野口健一 ☎ 668−4220 ・舟木恵子☎ 773-1591 ・舟橋 寛 ☎ 764-3789 ▼新年会＝1月9日(木) PM 6:30〜 会場＝札幌駅前エスタビル10F 四川飯店			

⑨ 山菜採り	藤田耕造 ☎741-2560	今年は会員も増え，キノコ採りも近場でいいところを見つけました。来春、ものみな萌える頃を夢みて、厳寒を無事乗りこえましょう。		
⑩ 釣り	藤田耕造☎ 741-2560	今年は、単独釣行でした。★釣り同好会としては、今冬で閉鎖しようと思います。 条件が整えば声を掛け合って下さい。復活を祈ります。		
⑪ 教科書をトキドキ見る会	小松　豊 ☎785−2622	1／27(月) 10:00～12:00 2／24(月) 10:00～12:00	エルプラザ ☎728−1222 1階案内板確認	▼中学校歴史教科書　・P159(樺太千島交換条約)　・P160(琉球から沖縄県へ) ※今の情勢とかみあって，皆さん興味津々で3月24日も予定しました。
⑫ 登山 (山歩会)	・地蔵幸信 ☎ 663－4976 ・横山淑子☎ 681－2844 ・野原安雄 ☎ 642−3359 ▼冬場でも体力保持トレーニング継続を期待しています。			
⑬ スキー	千田　勉☎ 786-2623 加藤活男 ☎・FAX・ 591－5335	(see below)		

13年度スケジュール

無理せず、競わず、頑張らず をモットーに常に「マイペース」で安全に楽しいシーズンにしましょう。北海道の冬を思いっきり楽しみましょう。

月　日	場　　所	月　日	場　　所
12／24	藻岩市民スキー場	26	ニセコアンヌプリ一泊
1／・6	〃	27	ニセコ・ヒラフ
14	〃	3／　3	藻岩市民スキー場
20	〃	10	札幌国際スキー場
27	〃	1 7	〃
2／3	〃	2 4	〃
10	〃	31	〃
17	〃	4／ 7	〃
24	〃		



▼　集合時間　午前10時　　　　　　　　　　　(定例月曜日)

▼　集合場所　各地ケット売り場付近

▼　１泊スキーツアー(２月26・27日＝ニセコひらふスキー場)
詳しくは後ほどお知らせします。

編集後記

▼支部便り151号をお届けします。原稿や情報をお寄せいただいた皆さんに感謝申し上げます。正月休みにゆっくりご覧下さい▼〈訂正とお詫び〉支部便り150号5P下段「私とうた声同好会ナンバーワン」は，「私とうた声同好会」の誤りでした。訂正してお詫びします▼現在も「特定秘密保護法撤廃・発動阻止！」の運動が広がっています。安倍自公政権は国民の深いところからひたひたと押し寄せる力が一番怖い！　(F)

「12・8戦争・平和教育・憲法を語る集い」で阿部幸一さん

2014年 1月 ⇔ 行事予定 ⇔ 2月

日	曜	1月
1	水	
2	木	
3	金	
4	土	
5	日	
6	月	踊り　・スキー
7	火	
8	水	
9	木	パークゴルフ新年会
10	金	茶　道
11	土	うた声
12	日	
13	月	語る会
14	火	・スキー
15	水	
16	木	書　道
17	金	
18	土	
19	日	
20	月	踊り　・スキー
21	火	
22	水	
23	木	読　書　・囲　碁
24	金	
25	土	茶　道
26	日	
27	月	スキー
28	火	
29	水	
30	木	
31	金	

日	曜	2月
1	土	＊支部便り原稿最終〆切り
2	日	
3	月	踊り　・スキー
4	火	
5	水	
6	木	
7	金	
8	土	うた声　・茶　道
9	日	
10	月	語る会　・スキー
11	火	
12	水	
13	木	
14	金	
15	土	
16	日	
17	月	踊り　・スキー
18	火	
19	水	
20	木	書　道
21	金	
22	土	うた声　★子どもをとりまく環境を学ぶ学習会
23	日	茶　道
24	月	スキー
25	火	＊役員会・支部便り152号発行
26	水	・一泊スキー　～27日　(ニセコ)
27	木	読　書
28	金	

備考

▼今号の「諸集会」は、情報不足により掲載不能でした。お詫びします。
▼スキー同好会第初滑り＝12月24日(火)　藻岩市民スキー場
▼例年1月に行われていた新春の教育集いは，会場の都合により3～4月に開かれる予定です

▼mailを利用されている方は藤田のアドレス　kfujita@kmj.biglobe.ne.jpに送信して下さい。